

提出 順番	No. 2	令和 6 年 11 月 20 日 午前・午後 5 時 02 分受領
----------	----------	--------------------------------------

令和 6 年 11 月 20 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 内山 美穂子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 森林環境税の有効活用を	<p>森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全、木材等の林産物供給など多面的機能を持ち、その発揮を通じて私たちの生活に様々な恩恵をもたらす緑の社会資本とされています。しかし、近年は手入れが行き届かない森林が増えており、戦後復興期から高度成長期にかけて植栽された人工林の多くが伐採適齢期を迎えています。</p> <p>このような中で、これらを切って活用し、植えて育てる循環利用を促進し、様々な機能を持続的に発揮させる必要があります。しかし、全国的に森林業に携わる担い手の不足などにより、森林の経営管理や整備に支障を来している状況にあることが指摘されてきました。</p> <p>こうした現状に加えて、温室効果ガス削減の目標達成や近年の集中豪雨等の気象災害への対応に必要な財源として、国において森林環境税及び森林環境譲与税が2019年に法律として制定されました。幕別町が掲げる「ゼロカーボンシティ宣言」の実現に向けて、森林の持つ本来の機能である温室効果ガスの吸収能力を高める施策が求められています。さらに、環境に配慮した持続可能な森林管理を進めながら森林を活用していくことも地域づくりの重要な要素であると考えています。</p> <p>令和 6 年度からは 1 人年額 1,000 円の森林環境税の徴収が始まりました。森林の整備には長い年月を要するため、早期</p>

<p>2 災害リスクを減らし町民の命を守る対策を</p>	<p>に着手することが不可欠であり、このことから、以下について伺います。</p> <p>(1) 町内の公有林と私有林の面積及びその割合は。また、私有林のうち人工林の面積は。</p> <p>(2) 森林環境譲与税が開始された以降の配分額と、これまで充当された事業内容と活用割合は。</p> <p>(3) 森林整備の現況と新たな森林活用システム「森林経営管理制度」を踏まえた施策は。</p> <p>(4) 森林事業者や町民などとの連携を通じて、森林資源を活用した持続可能なまちづくりを進めていく必要があると考えるが、町として今後の取組は。</p> <p>本年1月の能登半島地震、9月の豪雨災害など近年は大地震や豪雨災害が矢継ぎ早に発生し、防災・減災の課題は山積しています。</p> <p>政府は、11月に防災庁設置準備室を発足しましたが、幕別町においても、十勝平野断層帯や千島海溝沿いの巨大地震の切迫が指摘され、事前防災と災害時対応の強化がより急がれることとなります。</p> <p>災害における被害は、直接的なものだけではなく、避難所における生活環境の悪化などによる災害関連死も大きな問題となります。このようなことを未然に防ぐために更なる災害対応力の強化が重要だと考えます。このことから、以下について伺います。</p> <p>(1) 想定した避難者が収容できない避難所の対策は。</p> <p>(2) 防災備蓄品の保管状況と備蓄倉庫の増設計画は。</p> <p>(3) 発災初動時に必要とされるトイレの設置数が充足されていない避難所の状況と今後の対応策は。</p> <p>(4) 避難所の環境向上のためにマンホールトイレを設置する考えは。</p>
------------------------------	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。